示差膨張方式採用のTMA

多目的・多様な測定モードで高精度分析

TMA8311

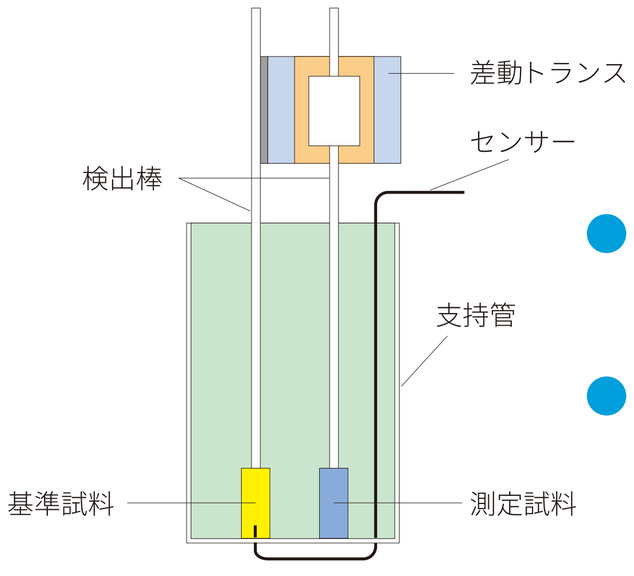
こんなお悩みありませんか？

高精度な示差膨張測定と、
高分子材料などの全膨張測定の両方を行いたい

リガクの TMA はアタッチメント交換で測定用途を拡張

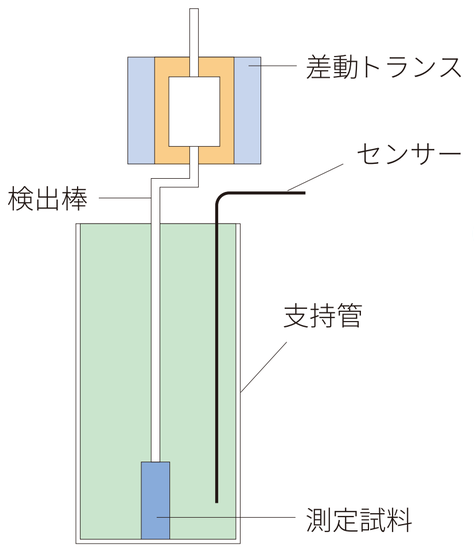
Rigaku's solution 1　1 台で示差膨張測定と全膨張測定を実現

■ 圧縮荷重法（示差膨張）



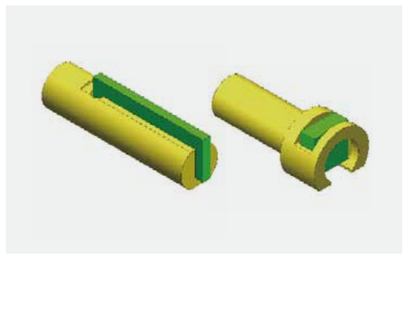
- 試料指示部の伸びを常時キャンセル
- 低膨張試料でも高い再現性で測定が可能です

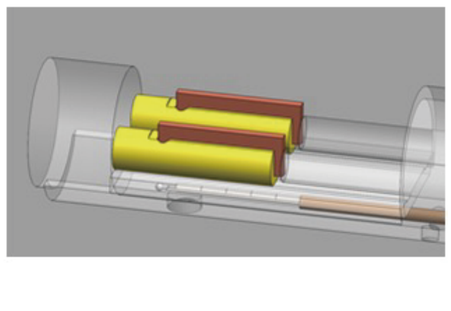
■ 圧縮荷重法（全膨張）



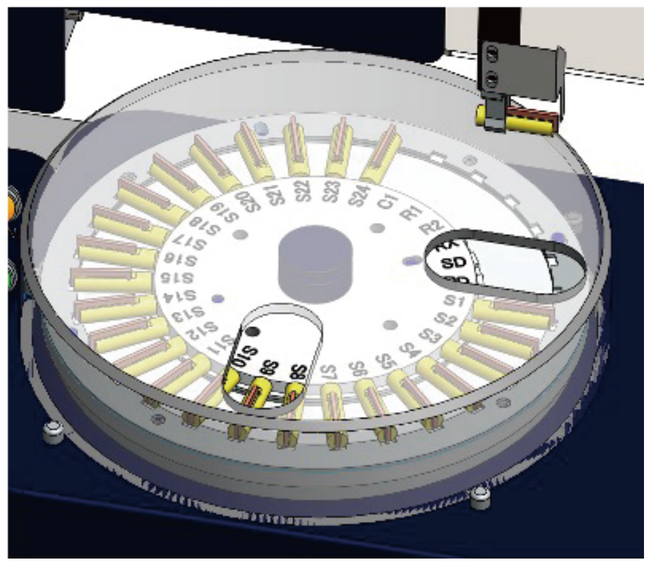
- 試料のみセットする全膨張方式は、示差膨張方式より大きな試料を測定できます

Rigaku's solution 2　サンプルチェンジャーを用いた測定も可能





薄い試料や小さい試料、強度の低い試料でも、
試料に応じた搬送ボートを使用することで
ASC 測定が可能になります。



Rigaku

rigaku.com

© Rigaku Holdings Corporation and its Global Subsidiaries. All rights reserved.